

議会報告会会議録

1 開会日	平成 29 年 5 月 13 日 (土) 午後 3 時 00 分 開会 午後 4 時 30 分 閉会
2 場 所	保健センター 2 階 研修室
3 出席議員	吉川重雄議長 (開会あいさつ) 坂田よう子副議長 (閉会あいさつ) 三澤龍夫議員 (司会進行) 竹内恵美子議員 (平成 29 年度予算の主な審査内容について) 清田文雄議員 (") 渡辺順子議員 (") 全議員 (少人数に分かれての意見交換) 玉虫志保実議員 (記 録) 鈴木京子議員 (") 二宮加寿子議員 (会場受付) 柴崎 茂議員 (") 高橋英俊議員 (マイク設置等) 関 威國議員 (写真撮影) 渡辺順子議員 (パワーポイント操作)
4 参加者	16 人
5 報告事項	(1) 平成 29 年度予算の主な審査内容について (2) 少人数に分かれての意見交換

議長あいさつ、議員自己紹介の後、報告担当議員から予算審査についてパワーポイントを使い報告。その後、少人数に分かれての意見交換を実施した。

(1) あいさつ・・・吉川議長

平成 21 年 11 月 1 日に施行した「大磯町議会基本条例」の規程に基づき行っている議会報告会も 13 回目を迎えた。今回は平成 29 年度予算の審査における議論の経過・結果を報告する。

その後、少人数に分かれて意見交換を行う。日ごろ皆様が感じている身近な話題を一緒に話し合えればと考えているが、誹謗中傷、個人的な話はお受けできない。議会報告会は、議員個人の意見を申し上げる場ではない。内容によっては町の答弁が必要なものも出てくるが、この場で町に替わって答弁するものではない点を御了解いただきたい。町に対する御意見は、後日、町にお伝えする。皆様からいただいた御意見、御要望は今後の政策提言に繋げていきたい。

(2) 平成 29 年度予算の主な審査内容報告

・・・竹内恵美子議員、清田文雄議員、渡辺順子議員

『議会だよりおおいそ』第 186 号及び議会報告会資料に基づき、平成 29 年度予算に対する予算特別委員会及び本会議における主な審議内容等を報告。

◎主な質疑

問： イノシシ対策の平成 29 年度予算額は幾らか。昨年と比べ対策費は増えているのか。国の補助金を活用すべきと考える。町費だけでまかなっているのは怠慢ではないか。

答： 平成 29 年度は電気柵の設置補助金として昨年の 2.5 倍の 75 万円が予算計上されている。なお、補助金の活用については、町にお伝えする。

問： 捕獲したイノシシ 200 頭を職員が手掘りで穴を掘り埋設処理している。職員の働き方を考えるべきではないか。

答： 町にお伝えする。

意： 駅前東自転車駐車場解体工事について、なぜ一番高値の業者が落札したのか。一番安価な業者を選ぶべきと考えるが。

(3) 少人数に分かれての意見交換

少人数に分かれての意見交換を実施。参加者、議員それぞれが 4 グループに分かれ、意見交換のテーマは決めず、身近な話題について話し合いを行った。

◎主な意見

グループ 1 (町民 6 名・議員 3 名(竹内恵美子議員・関威國議員・奥津勝子議員))

意： 身体障害者福祉協会の会長をしている。町から補助金をいただき、年2回歩行訓練を行うほか手話通訳者への支払いも行っているが、会員や賛助会員の人数が年々減少しており、年10万円の補助金では足りない。補助額を上げてもらうことはできないか。

意： 役場の受付にも手話通訳者を設置してほしい。設置が難しければ、手話通訳ができる職員を採用してほしい。聴覚に障がいのある人のコミュニケーション手段の確保を図るべきだ。職員も議員も手話を習ってほしい。

意： 薬漬け医療を切り込まなければ医療費は下がらないのでは。中郡医師会等と検討してほしい。

グループ2（町民5名・議員3名（三澤龍夫議員・二宮加寿子議員・渡辺順子議員））

意： 旧吉田茂邸関連事業1,771万円の内容は。旧吉田茂邸の維持管理費を一人500円の観覧料で賄うことができるのか。今後の運営方法はどのようなか。

意： イノシシ被害が出ていると聞く。町の対策状況はどのようなか。イノシシを使ったジビエ料理などの考えはあるか。

意： 駅前にクリエイトが出来ると聞く。町には景観条例もあるので大磯町にふさわしいものであってほしいが。

意： 大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業の内容は。駅前は町民に関心がある場所なので緑を確保してほしい。

意： 茶屋町公民館を建てかえるようだが、他の会館は建て替えないのか。

意： 大磯町にも二宮町のラディアンのように、町民が集まれる場所がほしい。

意： （仮称）東部子育て支援センター整備事業とは。

グループ3（町民6名・議員3名（玉虫志保実議員・高橋英俊議員・柴崎茂議員））

意： ごみ集積場所に、車や自転車で通りがかりにごみを捨てていく人、ごみ出しのルールを守れない人、収集方法の変化についていけない人がいるが、何か良い対策はないか。

意： 町は貧困状態の子どもたちの数を把握しているのか。食育という言葉は聞くが、貧困状態にある子どもたちの食の保証はどうしているのか。教育委員会は、子ども食堂を行おうという人たちに対し、学校とのパイプ役になるなどサポートをしてもらえるのか。

意： マンションに住んでいるが、高齢者が多く自治会に入ってもメリットがないと考えるためか自治会に加入している人が少ない。災害時のことを考えると地域の人とのかかわりも必要と考えるが。

意： 他の地区に引越しをして自治会費の違いに驚いた。自治会によって会費が違う理由は。

意： 県立大磯城山公園「旧吉田茂邸地区」にモニュメントが飾られていたが、

企画は誰が行ったのか。吉田茂邸にふさわしい展示とは思わないが。

グループ4（町民6名・議員3名（清田文雄議員・片野哲生議員・鈴木京子議員））

意： ふるさと納税は制度自体に問題もあるようだが、大磯町の状況はどのようなか。

意： 山王町で有料老人ホームを建てるといった説明会があったが、具体的などころがわからない。町からの情報もなく困っている。

意： 町長が不動川の浚渫を行うと言っていたが、不動川の浚渫は県の事業か。

意： 太平洋岸自転車道の延伸が具体的になるのは先の話か。町民に対し説明してほしい。

意： 3月定例会で原発事故避難者に関する意見書が採択され国に提出された。感謝する。

意： 大磯港みなとオアシス推進事業や大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業で、みなとにどのような建物が建つのか、駅前がどのようなになるのか説明がほしい。

意： 町が公共施設等、建物を新しく建てる場合には、省エネルギーとエネルギーの地産地消を取り入れてほしい。

意： エネルギー条例を更にかためるために、エネルギー計画を立て取り組んでほしい。横断的に行うことで、無駄をなくし、財源を生み出し福祉に活かしてほしい。

意： 県がエネルギーについて取り組んでいる。電力の地産地消の取り組みを進める事業者から電力を購入してほしい。

意： 下水道の老朽化が全国的な問題になっている。老朽化対策に計算以上にお金がかかるようなので、町債が増えるのではないかと心配する。税を増やす策はないのか、将来負担の考え方も含め、全体像を町民に説明してほしい。

意： 町の人件費の問題とはどのようなことか。人件費を節減しているのか。定員などよくわからないが。

意： 町民の中には、町が何でもやってくれると思っている人がいるが、それは間違い。町も仕事を減らす取り組みをしないといけないのではないか。

（4）閉 会
